写 真 図 版



7 試掘坑 D (南西から)

6 試掘坑 C (南西から)

道 跡



1 SF01 A セクション(南東から)

2 SF01 Bセクション(南東から)





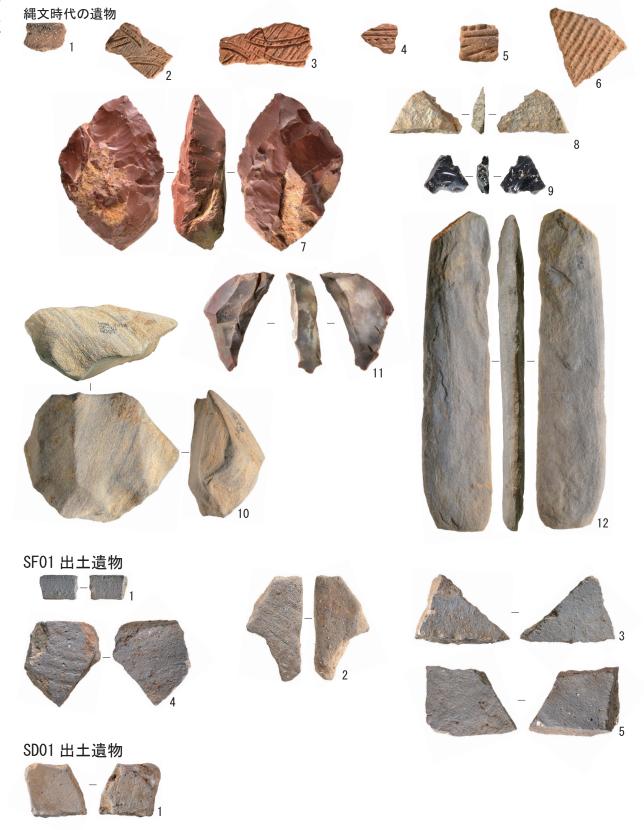
4 SF01 最下層路面 (S1 杭付近、北西から)

道跡・溝跡・土坑



6 SD01 完掘全景(南東から)

7 SK01 A セクション(北西から)



報告書抄録

ふりがな	へばら ごほんまつ いせき
書名	部原五本松遺跡
副書名	H26農村交流基盤整備事業に伴う発掘調査
シリーズ名	石岡市埋蔵文化財調査報告書
編集者名	長谷川秀久 鈴木 徹
著者名	谷仲俊雄 長谷川秀久 大賀 健 鈴木 徹 石山 啓
編集機関	有限会社 勾玉工房Mogi 〒286-0211 千葉県富里市御料1009-28 TEL 0476-92-0658
発行機関	石岡市教育委員会 〒315-0195 茨城県石岡市柿岡5680-1 TEL 0299-43-1111
発行年月日	西暦2015(平成27)年3月20日

ふりがな	ふりがな		コード						
所収遺跡名	所在地		市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
へばらごほんまついせき 部原五本松遺跡	いばらきけんいしおかし 茨城県石岡市 へばら ばん ほか 部原1番41 外		08463	146	36° 15′ 35″	140° 13′ 31″	20141018 ~ 20141101	500 m²	農村交流基盤整備事業
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺	貴構	主な遺物			
	包蔵地	希	 			早期(天矢場式)・前期(浮島式) 中期(五領ヶ台式・加曽利E式) 石器(槍先形尖頭器・石核・剥片・棒状石器)			
部原五本松遺跡	遺跡		• 平安時代以降 道		1条	須恵器 (8・9世紀、常陸産・新治窯産)			産)
			近 世	道 跡土 坑	1条 1基	陶器・青磁			
			現代	溝 跡	1条				
古代の常陸国府域とその屋瓦を生産した瓦塚窯跡を結ぶ道跡の可能性がある硬化面(路面)を確認。路面 要 約 直上では8・9世紀代の須恵器の細片が検出された。また、ほぼ重複する上層に近世の路面も確認。こちらは、通称「宇都宮街道・瓦会街道」の遺構に比定される。									

石岡市埋蔵文化財調査報告書

部原五本松遺跡

-H26 農村交流基盤整備事業に伴う発掘調査-

2015 (平成 27) 年 3 月 20 日発行

編集·発行 石岡市教育委員会

〒315-0195 茨城県石岡市柿岡5680-1 Liu 0299 (43) 1111 (代)

有限会社 勾玉工房 Mogi

〒286-0211 千葉県富里市御料1009-28 LE 0476 (92) 0658

印 刷 能登印刷株式会社

〒920-0855 石川県金沢市武蔵町7-10

Tel 076 (233) 2550